

## 松戸コース

『松戸PR～私のことは嫌いになっても、松戸のことは嫌いにならないでください～』

### 目的

松戸市民の方に一人ひとりの思いをインタビューでお聞きし、松戸市民のシビックプライドを醸成するため、PR方法を考えます。

### コース紹介

広報だってPRだって頑張っている松戸。子育てしやすいまちランキング2位で、NPOの活動も盛んで、治安も良くなってきて…良いところが沢山あって、努力もしているのに、なかなか市民に伝わらないのは何故なのか！  
松戸コースは市民が松戸を好きになる方法を考えます。

### フィールドワーク

時間	行き先	備考
9:45 ~ 10:15	松戸市役所へ移動	
10:15 ~ 11:15	学生相互インタビュー	インタビューシートを使ってインタビューの練習
11:15 ~ 11:30	松戸市役所出発 (徒歩)	
11:30 ~ 12:00	インタビュー 1. アトリエミルクル 場所:同上 担当者:鈴木さん 2. 株式会社まちづくりクリエイティブ 場所:同上 担当者:未定 3. 青年会議所 場所:松戸市役所 担当者:松本さん、大谷さん	
12:15 ~ 13:00	昼食 (定食 おたふく)	
13:00 ~ 13:30	移動 (徒歩)	
13:30 ~ 14:30	戸定歴史館 	戸定邸(とじょうてい)は国指定重要文化財。 現地ガイドさんの説明を聞きながら見学します。
14:40 ~ 14:50	移動 (車)	
14:50 ~ 15:20	21世紀の森と広場 	
15:20 ~	麗澤大学に戻る	
16:10 ~	インタビュー・現地調査結果の共有	

Aチーム

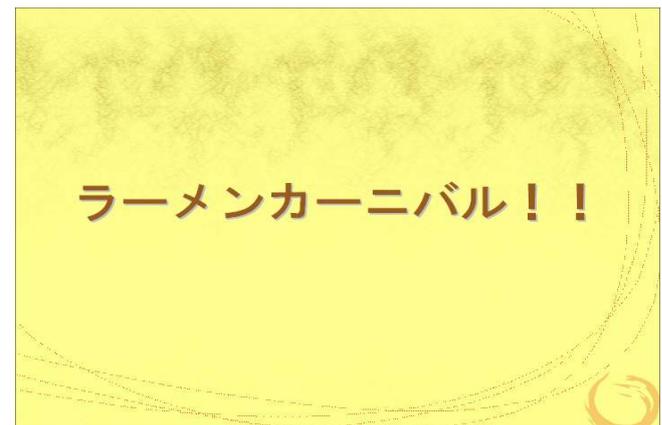
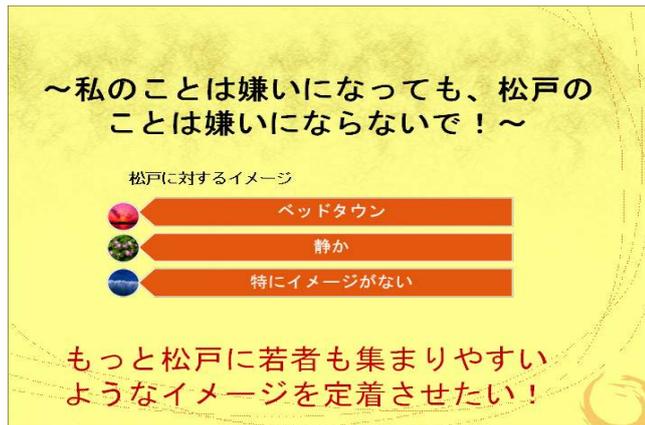
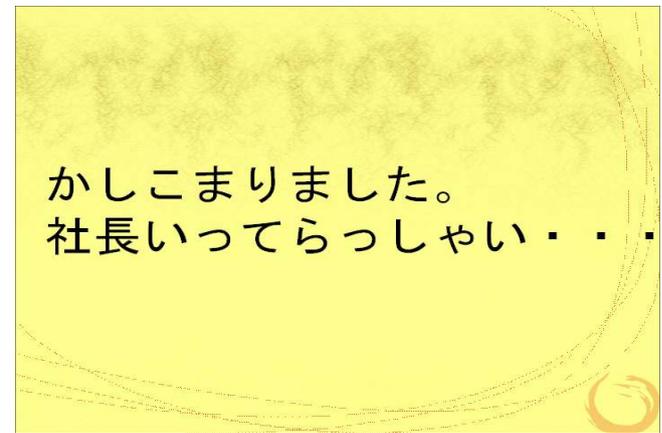
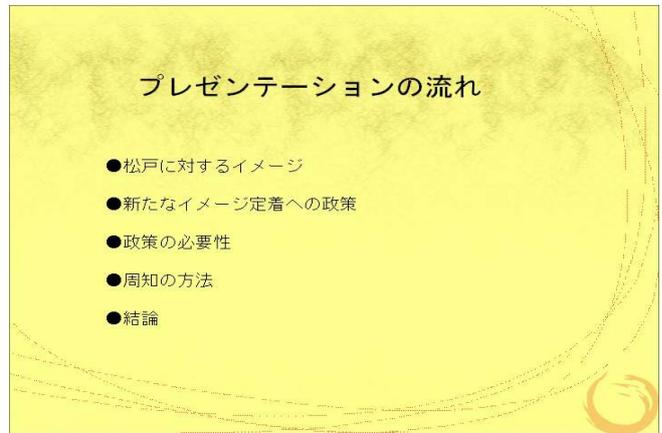
## 『ラーメンカーニバル』

メンバー

聖徳大学	1年	菅原	さん
聖徳大学	1年	諏佐	さん
麗澤大学	3年	豊後	さん
麗澤大学	2年	紫藤	さん

発表内容

若者が集まりやすいまちのイメージを定着させるため、若者をターゲットにした『ラーメンカーニバル』を開催する。生産量日本1のねぎ、キャベツを使用し地産地消も同時にPRする。

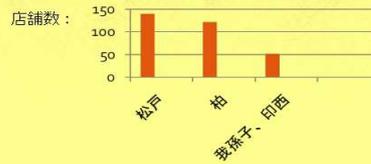


## プラン内容

- ラーメンVSつけ麺（松戸市内のラーメン屋に限定する）
  - ・市民に投票してもらう。
  - ・期間：半年に一回、1週間
- 松戸の生産量1位をほこる、ねぎもしくはそれに準ずるキャベツを使ったラーメンをだれでも参加型のチームとして作ってもらい、ラーメンVSつけ麺に参加してもらう。
- カーニバルとは、謝肉祭という意味合いも持っているので、2日目から既定のラーメン店を食べた市民に利きチャーシューを開催する。
- 同時にねぎやキャベツなど松戸に住む生産者が自由に販売可能なブースも提供する。

## なぜラーメンでなければいけないのか

- ラーメンが若者のトレンドである
- 店舗数も東葛飾区内のほかの都市より店舗数が多く、また有名店が多いことを利用できる



- 生産量1位のねぎ、キャベツを利用することにより地産地消が可能である。
- 若者でも野菜を取りやすい手段として利用できる

## 周知の方法

### SNSを利用する

- ・ Face book
- ・ LINE
- ・ Twitter
- ・ mixi
- ・ Google+
- ・ Ameba

### 広告

- ・ 雑誌
- ・ チラシ
- ・ ポスター（駅ナカ）

## 結果

- 松戸にラーメンのイメージを定着させることができたことにより、若者の集客に成功できる
- 若者が集まりだすことで町が活性化されて、ラーメン以外にもトレンドを生み出すことができる可能性を持っている。
- 松戸の知名度の向上

Bチーム

『私のことは嫌いでも、松戸のことは嫌いにならないでください！』

メンバー

聖徳大学	3年	日高	さん
中央学院大学	2年	西田	さん
東洋学園大学	1年	鈴木	さん
麗澤大学	2年	パク	さん

発表内容

フィールドワークで実施したインタビュー結果から、市民の無関心層をターゲットに、まちに関心を持つ第一歩としてMatsudo Community Styleを提案。関心を抱き将来的にまちを好きになってもらえるよう、市民祭りの開催や情報サイトを提案した。



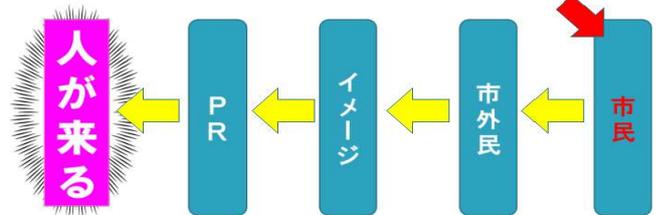
T: 今だ未定

M: さわちゃん、カンちゃん、カヲルくん、なっつー

### 今日に至った経緯

松戸市民にインタビューしました。そこから以下のような結論を導きました。

ターゲット！



### どんな市民がいるのか？

#### 松戸市民

低い

- ・学生  
⇒知らない、分からない、機会がない(知ろうとしない)
- ・サラリーマン  
⇒寝に帰るだけ

高い

- ・松戸で働き、且松戸での生活を楽しんでいる人

関心がない人に  
関心をもってもらおう

### 第1歩を提供するには

じゃあ、どうするか？

# Matsud' s Community Style

(略してMCS)

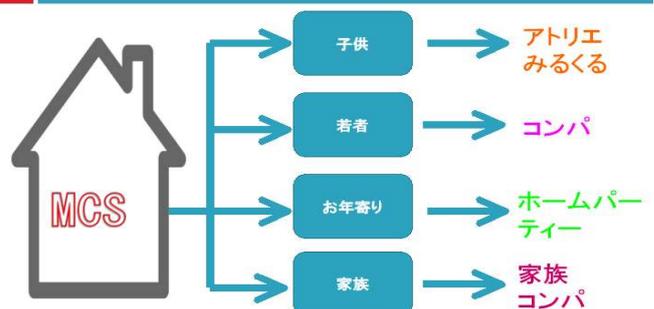
### 関心をもってもらうには

関心が低い市民

# 無関心

Step1 無関心に関心に変える  
Step2 関心を好きに変える

### Step1 関心をもってもらう



## Step2 関心を好きに変えるには

子供

若者

お年寄り

家族

融合

# 松戸 市民祭

## 無関心な人へのアプローチ

松戸情報サイト  
その名も、、、



## 最後に、、、

本日この発表にあたり、  
ご協力いただきました  
松戸市職員のみなさま、松宮アヤさま、  
本当にありがとうございました。

ご静聴ありがとうございます。

## 講評

江戸川大学  
濱田教授

Aチームは若者ならではの着眼点のイベントの提案となっていたが、さらに具体的な内容を盛り込むとより良い発表となった。  
Bチームは、プロデュース案をもとに新しい松戸のコミュニティスタイルを提案してほしい。

## 活動の様子



まちなかを散策



グループワークの前に  
アイスブレイク